

旬の味覚堪能!

積丹町ふるさと振興協議会 山本俊三 会長、商工会 ほか3団体で構成の主催による、しゃこたん生き活きまつりが、9月30日、美国町の憩いの広場で行われ、町内外から訪れた約10000人が積丹の旬の味覚を堪能しました。

会場では、ほっけ切込や新巻さけなどの水産加工品や、積丹産の力ボチャやジャガイモといった農産品などの販売のほか町商工会女性部による毎年恒例の特製サケ鍋500食が無料で振る舞われました。

また、会場内で買物された200人に生さけが当たる抽選会も行われ、秋晴れの下、多くの行楽客がゆつくりと旬の味覚に舌鼓を打つなど賑わいを見せていました。



量と安さで勝負!

第18回目を迎える「婦美収穫祭」(板野幸博実行委員長)が10月14日、グリーンホリデー前駐車場を会場に行われました。

今年は初秋の降雨により、収穫が遅れ、例年より1週間程遅い開催となり、この日も秋時折冷たい風の吹く肌寒い中、「安い、新鮮」と評判を聞きつけてか、今年も町内外から大勢の人が訪れ、午前8時30分から開始時間にもかかわらず1時間以上も前から並ぶ人もいるなどジャガイモや力ボチャ、大根など収穫したての旬の味覚を買い求めに長い行列ができました。

また手作りのピザやコロツ

ケ、ヤマメの空揚げ、いももちなども販売され、おいしそくに類張る姿があちらこちらで見られ、会場は賑わいをみせていました。



高知県香美市を訪問  
伝統の「刃物まつり」に参加  
「積丹町北海物産市場」を出店

積丹町地域間交流推進協議会(佐藤勝次会長・8団体で構成)が主体となり、毎年行われている地域間交流事業の一環で、高知県香美市に10月19日から22日までの日程で訪問しました。

今回参加したのは、山本俊三町商工会長を団長に、町女性団体連絡協議会や産業団体関係者など総勢11人。



今年で26回を数える香美市土佐山田町の伝統あるイベント「刃物まつり」に参加し、昨年に引き続き「積丹町北海物産市場」と称し出店、今が旬の積丹産力ボチャやジャガイモなどの農産物や海産物、水産加工などを販売したほか、恒例となった「サケのちゃんちゃん焼き」の実演販売も行われ、客足が絶えないほどの盛況ぶりでした。

4日間で行われた今回の訪問で、より深い信頼関係が築かれたことあり両市町にとって意義のある訪問となりました。

